

特別養護老人ホーム 杏樹苑滔々館

(杏樹苑滔々館短期入所生活介護事業所含む)

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

感染症分類で5類となりました新型コロナに対する考え方は、高齢者施設としまして又、ユニット型施設としても行う事には変わりはないと思っております。個別性が保たれます空間は感染症の視点においては正しく活用しながらの感染症対策の継続は必須と考えます。特別養護老人ホーム杏樹苑滔々館の理念である「自然」「共感」「共存」を基本とすることには変わりはなく、個々の方に合った「暮らし」の提供を確実に実施してまいります。特に人間に必要な不可欠で尊厳を重んじるべき排泄ケアに関しましては、入居者並びに利用者一人ひとりの状態に合わせた対応を実施し、自立支援につなげてまいります。

そして、高齢者のケアに対して日々新しい情報を得る事は重要と考えますのでオンラインも併用しながら対面での研修・勉強会等を計画的に実施することで中身のある学びを通じ職員の資質向上を図ります。介護の専門職として職員間の連携を密に図り、根拠に基づいたサービスの提供が図れるように努めてまいります。

【私たちが提供できる価値】

《介護課》

私たちは、入居者、並びに利用者一人ひとりがそれぞれの生活の中で、その方に合ったニーズに答え、24H シートを基にユニットケアを推進していくことで、その方らしい生活の提供ができるよう努めてまいります。

排泄に強い施設を目標に掲げ、個別ケアを基本としてその方の生活に沿った排泄時間での支援を検討し失禁を減らしてより良い快適な排泄が行えるように努めてまいります。

《看護課》

私たちは、施設の医療職として、入居者の健康と安全を守るよう努めます。

入居者の方が、その人らしい生活が継続できるように多職種と連携していき、必要な医療提供ができるように努めます。

看護学生の実習を積極的に受け入れ、未来の看護師の育成に協力します。

《栄養課》

お食事は、入居者並びに利用者の皆様が生活していく中の楽しみの一つです。提供するお食事が安全に美味しく、楽しくなるように努めてまいります。調理業務については委託にて行っていますが、日頃から厨房スタッフとのミーティングの場を多く設けるようにし、お互いの意見を尊重し、協力しながら、業務を遂行していきたいと思っております。

また、栄養ケアマネジメントを実施し低栄養、褥瘡を有する状態にならないように多職種と連携し個別ケアに努めてまいります。

《相談課》

昨年度に引き続き、感染症対策に努めながら入所やショートステイの受け入れを継続的に行って行きます。今まで同様、入居者並びに利用者の尊厳の保持、自立支援、重度化防止の取り組みや看取りへの対応の充実など生活施設としての役割を途切れさせないよう努めてまいります。また、苑内多職種及び医療機関、外部機関との連携におけるハブ的役割を担ってまいります。多様化するニーズに可能な限り働きかけ、ご家族との繋がりや社会との繋がりが実感できる生活を送れるように支援してまいります。

《総務課》

私たちは、法人理念、法人方針のもと、受付窓口として常に明るく笑顔で対応すること、生活されている入居者、来苑者に安心感を与えられるような温かい対応を心掛けます。感染対策は今後も継続していく必要があると思われまので、対面ではない声のみの対応でも笑顔を伝えられるような対応を目指します。

拠点内の他職種と連携、情報共有しスムーズにご案内できるようにしていくとともに、職員への情報発信、サポートすることでより良いケアにつなげていきます。

【年度終了時の展望】

入居者並びに利用者一人ひとりの状態に合わせた対応を実施することで、急な体調変化への対応や事故防止が図り、無用な入院が無いよう施設運営を行いたいと思います。様々な感染症対策の継続は、高齢者として必須である中で、施設・フロア・ユニット、各単位での行事の開催を確実にいき、個別の趣向や趣味などに対するサービス提供も平時と同様の開催とします。職員一人ひとりのユニットケアへの理解を深める機会である会議や研修の機会は、対面・集合形式を再開することで中身の充実を図ります。その事が職員個々の自信に繋がり、入居者並びに利用者の「暮らしの継続」と職員の専門職としての資質向上が図れると考えます。

上記の充実を図ることで安定的な稼働を生み出し、算定可能な加算算定を積極的に行いながら、待機者が減少傾向にある長期入居においては 70 床中 95.0%の稼働を目標とし、ユニット型短期入所生活介護事業に関しては、サービス提供エリアへの切れ目のない情報発信や個別余暇活動の充実等を図り選んでいただけるよう努めます。特養の空床ベッドの利用調整も積極的に行い 90.0%稼働を目標にしたいと思います。地域や外部機関との連携も積極的に行い、地域貢献、他職種連携の充実も図ってまいります。

行事計画

月	内 容	備 考
令和6年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設記念日 ・ 春のドライブツアー 	4月1日 4月中旬
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菖蒲湯週間 ・ 美味しい新茶を飲もう ・ 鯉のぼり展 	5月初旬 5月中旬 5月中旬
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ お蕎麦の会 ・ 梅雨のドライブツアー 	6月中旬 6月中旬
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニ販売 ・ 七夕祭り ・ 鰻を食べよう ・ 流しそうめんの会 	7月中旬 7月7日 7月中旬 7月中旬
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏カフェ&夏祭り ・ 花火大会 	8月初旬 8月中旬～下旬
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会 ・ さんまを食べよう ・ 防災の日 	9月16日 9月中旬 9月中旬
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大運動会 ・ 秋の味覚を楽しもう 	10月中旬 10月中旬
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芋煮会 ・ 公園を散歩しよう（森林浴） 	11月中旬 11月中旬
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柚子湯週間 ・ クリスマス会 ・ 大忘年会 	12月初旬 12月中旬 12月中旬
令和7年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初日の出を見る会 ・ 餅つき ・ 初詣に行こう ・ 鏡開き ～書初めをしよう～ 	1月1日 1月2日 1月中旬 1月中旬
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分 ・ コンビニ販売 	2月3日 2月中旬
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雛祭り ・ 春の散策ツアー 	3月3日 3月中旬

*誕生日会は、毎月行います。

*今年度は、屋上の畑を活用し通年のイベントとして野菜・果物を育て収穫していきたいと考えています。